

Q 特定健診情報提供事業は。

A 250名の提供で受診率5ポイント上がる見込み。

Q 健康いきいき券の取り扱いについて。

A 70歳以上に引き上げ、家族利用も可能とする。

Q 後期高齢者検診受診率は。20〜25%。今後も個人に受診を勧めていく。

環境水道部

Q みずほクリーンセンター広域で更新等の協議は。

A 建設後まだ15年で、今後の事はもう少し先の協議。

Q 外来植物除去について、現在の状況は。

A 平成24年から実施。オオキンケイギクは減少、オオハングンソウは増加傾向。

Q 各地区で除草作業が行われるが、根から抜く等、地域あげた対策が必要でないか。

A 地域活動による駆除体制の確立を徐々に拡大したい。

Q 古川浄化センター活性装置導入で水質向上するのか。

A 通常の汚泥より活性力が高く、処理水もよくなる。

Q 神岡にも導入しては。

A まず古川浄化センターで試し、様子を見て検討。

農 林 部

Q 畜産構造改革支援事業。吉城コンポに対する予算は。

A 約2千万円。補助率は県と市を合わせて3分の2。

Q 吉城コンポへ補助を減らせるように市での指導は。

A 吉城コンポの経営についてしっかり指導したい。

Q ふるさと納税の返礼品に米が人気。参加農家の増を。

A 認定農業者の会議でも提案していきたい。

Q 鳥獣被害対策。上気多地区のみ柵がないが、この地域との協議の進捗状況は。

A 柵の耐用年数の14年間管理する協議会が必要。耕作者に殿町の方が多い事もあり、殿町、上気多の改良組合、区で協議を進められている。

Q 新しく景気動向調査が行われるが、議員や市民にも広く知らしめるべきでは。

A ホームページ等でしっかりと公開していきたい。

Q 観光誘客宣伝で旅番組制作との事。具体的には。

A 土日昼間の地上波、北陸方面で30分程度を想定。

Q コンベンション支援事業、

修学旅行は対象でないのか。

A 現在対象外。入札で取扱業者が決定される運用上の課題であると聞いている。

Q 飛騨市観光協会に移管した古川祭の業務の主な内容は。

A 起し太鼓の打ち出し会場の危険防止の仮設や交通警備、観光面での準備全般。

Q 人材確保支援事業、専門性が必要となるが、もう少し使いやすい補助金にしては。

A 今回は市内に不足している分野の人材育成に対する補助金。今後検討していく。

基盤整備部

Q 忠霊塔の藤棚の維持管理はどこがやっていくのか。

A 土地を所有する飛騨信で維持管理していただく。

Q 無償耐震診断を促進する手立ては。

A これまでのPRに加え、戸別にチラシ配布や対話により促進したい。

Q 坂巻公園の再整備についての詳細を。

A 旧テニスコート敷地の利用について市民ニーズを調査し、それに基づき設計を行う。

教育委員会

Q 部活動出場補助金の枠組み

はあるのか。

A 制限は考えていない。

Q ノルディックウォーキングの普及方法は。

A イベント、まちなみ歩きなどでPR。指導者育成も。

Q 「ふるさと飛騨」改訂版の検討委員会構成員は。

A 設置要領で地域性、専門性等を考慮した12名以内。

Q 「夢の教室」の開催校は。

A 今年度は古小・古西小。スポーツ以外も検討したい。

Q デジタルアーカイブを身近に閲覧できる環境整備を。

A 図書館で一部閲覧できる。今後も体制を整えたい。

Q 成人式開始時間について。

A 今回を踏まえ検討する。

Q 先生の職場環境改善は。

A 部活動について、負担と

ならないよう考慮している。

市民病院

Q 老健たかはら減益の理由。

A 介護士の不足。

Q 地域包括ケア病床の利用状況は。

A 現在満床である。増床要件があるが、検討したい。

Q 透析を夜間にできないか。

A 20名の利用があるが、職員

の状況から現状では困難。

編集後記

平成29年第1回定例会が3月22日終了しました。

平成29年度予算は、都竹市長が初めて通年予算として、本格的に編成されたものです。これまでに実施してきた事業の改革・改善、議会で指摘してきた項目や市民の方々の提案事項など、リスト化し、充分政策協議がされてきたことがうかがえるものです。

限られた財源を最大限活用し、「元気で、あんな、誇りの持てるふるさと飛騨市」の実現にむけた非常に中身の濃い予算で、質の高い質疑を心がけ熱い議論を展開してきました。

また、今回「飛騨市元職員の履歴に関する事務手続の調査特別委員会」の調査報告がされました。真実の解明は難しく、さらに疑惑がでてきたようにも感じています。

行政に携わるものは、今一度襟を正し、法を遵守していかなければならないと思います。

(森 要)